

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス岩槻教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育、小集団療育を通じて一人ひとりに合わせた課題に取り組むことができます。	個別では指導員との丁寧な関り、小集団では子ども同士の関りを支援することでコミュニケーション力を育てています。	日々の記録を充実させ、スモールステップで課題を設定していきます。
2	毎回の支援を保護者の方にマジックミラー越しに見ていただき、丁寧なフィードバックを行っています。	フィードバックでは支援の様子を伝えるだけでなく、家や園での様子や保護者の方からの要望を伺い支援に活かしています。	モニタリングやフィードバックを通じて必要な支援を保護者の方と一緒に考えていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や保護者同士の関りの機会が少ないです。	1時間の療育が主なため、保護者様同士が顔を合わせる機会がありません。 また、部屋での活動が主なため地域の方と触れ合う機会が少ないです。	季節ごとのイベントを通じて地域の子や兄弟と一緒に取り組める機会を設けます。 また、保護者の方に見学していただきながら交流の場としても使っていただきます。
2	職員のスキルアップの機会を増やしていきます。	個別、小集団の療育が主なため、幼稚園・保育園の集団での関りを想定しながら関ることが必要だと思われます。	研修の時間を確保します。事業所で行っている保育所等訪問での園の訪問を通じ、集団での必要な課題を共通認識として持てるようにします。
3			